

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 技術分野のガイダンス	3	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを発見する力を身につける。 技術の発達による生活や産業の変化を身につける。 身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する力を身につける。 PDCAサイクルに沿って問題解決を行う考え方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活のさまざまな場面で活用されている技術について、利用されている場所について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 未来の技術について想像し考えをまとめ、班で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な機械や電気機器に技術が利用されていることに関心を持ち、技術の役割について考えようとしている。
2 木製ペンスタンド製作	9	<ul style="list-style-type: none"> けがきの方法を身につける。 材料の切断方法を身につける。 部品加工の方法を身につける。 組み立ての方法を身につける。 製品の点検、修正の方法を身につける。 製品の仕上げの方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作品の機能や構造を考えた設計をすることができる。 材料によって構造を丈夫にする方法が異なることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 構想したものの形を図で表すための工夫をしている。 材料の特徴を活かして製作品に用いるために工夫している。 製作品の使用目的にあわせて構造の工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。
3 木製品の構想および設計	4	<ul style="list-style-type: none"> 製品を丈夫にするための材料と加工の技術の工夫について身につける。 部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を身につける。 身近な生活で、問題を見つけ、問題を解決するための課題を設定し、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する方法を身につける。 製作に必要な図の描き方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 製作に必要な図の描き方を理解している。 製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 構想したものの形を図で表すための工夫をしている。 材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 製作品の使用目的にあわせて構造の工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
4 木材加工による製品の製作	15	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備し、製作工程を作成する方法を身につける。 切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線をけがき、切断線に従って切断した後、寸法線に従って加工する方法を身につける。 加工後、検査・修正し、仮組み立てをし、組み立て、検査・修正する方法を身につける。 素材や用途に合った表面処理を身につける。 材料と加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用目的、使用条件、機能を明確にしている。 材料によって構造をしようぶにする方法が異なることを理解している。 材料の特徴がわかり製品に適した材料の選び方を理解している。 安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 材料によって構造をしようぶにする方法が異なることを理解している。 材料の特徴を活かして製作品に用いるために工夫している。 製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。 他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。

5 材料と加工の技術	4	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考え、「技術の見方・考え方」を身につける。 ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する能力を身につける。 ・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える能力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に活かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材, 金属, プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて, 問題を発見し, 自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料と加工の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 材料と加工の技術を評価し, 適切な選択, 管理・運用, 改良, 応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
------------	---	--	---	---	---